

月報 2025年11月30日 NO417

11月号

四方 通信

石城山岳会事務局編集

11月教室 登山道整備(+ロープワーク実践編)

11月教室 登山道整備(+ロープワーク実践編)

2025年11月16日(日)

参加者：教室生 大方、鈴木(勤)、長谷川、矢内、佐藤

会員 菅野、西(由)、柏村、山縣、菊地、山中、二瓶、
国井、佐藤(春)、安部(辰)

朝8:10、小玉ダム駐車場から剣ヶ峰に向かって登山道整備を開始。

刈払機が3台、その他の人々は刈りバサミ、鎌等で登山道の両側の草木を刈って行くのだが、知つてのとおり上り勾配がキツく、かなり苦労した。刈払機を持っての上りはバランスが取れず更に辛かった。

登山道は笹エリアがボサボサしていて、刈払機が活躍したが、全体的には綺麗な状態だった。先輩方が日々整備していたおかげだと思う。

山頂手前で整備を終了。有志は山頂を目指し、11時半ごろには全員駐車場に戻った。

お昼を食べ、午後からはロープワークの実践講習会。講師は秋葉さん、栗崎さん、柏村さん。炊事場脇の斜面を使って行った。

まず、ロープを手摺にクローブヒッチで固定し斜面下に下ろす。身体にスリング(シートベント)で簡易ハーネスを作る。スリングに取り付けたカラビナにムンターヒッチでロープを結び、斜面を降下する。今月の座学で教わった内容だが、実際にフィールドで行うと全然違う。自分の身体をムンターヒッチでゆっくり下ろしていく感覚はやってみないとわからないし、結びに対する理解の度合いもはるかに上がる(気がする)。

初めは覚束なかった手つきも、何度も練習するうちに何となく素早く出きるようになってくる。やはり数をこなさないと自分の物にならないとつくづく思った。

約2時間たっぷり練習をし終了。

(文責：鈴木勤)



